

令和4年度事業報告

(はじめに)

我が国の景気は、令和4年初頭からのオミクロン株の爆発的感染拡大により再び社会経済活動は縮小の様相となり、さらにロシアのウクライナ侵攻が日本経済だけではなく、リーマンショック以降の緩やかな回復基調であった世界経済にも大きく後退の影を落としました。しかし秋以降、感染者減少によりコロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、緩やかに持ち直している一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰、令和5年春以降の欧米での金融機関破綻による景気後退懸念等、家計や経済を取り巻く内外の環境は依然厳しさが続いています。

そんな情勢の中、我が国の平均年齢・健康寿命の延伸、65歳以上高齢者人口は毎年過去最高を更新しており、政府は70歳代でも高い就業継続意欲が見られる現況を踏まえ、生涯現役で働き続けられる雇用・就業環境の整備を推進しています。

当センターも年度末の現況を見れば、70歳以上の会員が77.2%(307名)を占めその内男性会員が59.9%(184名)、女性会員が40.1%(123名)で、70歳台を中心に80歳代での就業が当たり前となってきています。

アフターコロナである程度落ち着いた状況の中、事業活動への打撃も緩和され、契約高で見るとコロナ禍前の水準に戻り、そんな中、設立30周年記念事業を様々な実施し、11月13日には記念式典を開催。多くの会員・会員外の参加で盛大裏に終えることが出来ました。

4年度も、「自主・自立＝自分たちのものとして考える・自分たちの力で育てる」、「共働・共助＝一緒になって働く・たがいに助け合う」のシルバー人材センターの基本理念に基づき、以下の事業に取り組みました。

1 新入会員促進と退会会員抑制および女性会員拡大の取組

毎月第3水曜に行っている入会説明会の参加人数は計69名となり、設立30周年記念事業実施等で当センターの周知が広まった後半には1回当たりの参加人数も徐々に増え続け、会員数は前年度末393名から5名の増398名で400名目前に迫りました。また、全会員数に占める女性会員の割合は40.2%で前年比プラス0.5ポイントとなり、女性会員拡大の取組の成果といえます。

2 地域社会が期待する業務の新規開拓と積極的な受注の取組

アフターコロナの日常が定着してきており、請負等事業の契約金額は前年比プラス1.3%、3,552千円の増加であり、特に民間事業実績がプラス3.7%、5,585千円の増額となりました。

派遣事業は年末に6名の一括雇止め等で減員・減収となりました。請負等事業と合わせた全体では、契約金額はプラス0.4%と僅少増でしたが、就業実人員はプラス3.4%、延人員プラス2.1%、就業率もプラス2.1%の98.5%となっています。

3 安全就業の取組

安全就業対策実施計画に基づき、就業現場での安全就業への取り組みを安全パトロールで確認し、安全作業・意識の啓発を行いました。傷害4件、損害賠償・修理等13件の計17件の発生件数となりました。特に草刈作業での飛石による車両や家庭サッシ等の損害賠償額が非常に高額となる傾向にあり、会員の安全意識の醸成や危機管理の啓蒙・推進が喫緊の課題です。

4 高齢者の就業に関する情報の収集・提供および調査研究の取組

(公社)全国シルバー人材センター事業協会(以下「全シ協」という。)や(公社)兵庫県シルバー人材センター協会(以下「兵シ協」という。)、関係行政機関、民間から発信される関連情報を収集し、会員へ適時、就業・求人情報の提供を行いました。

5 高齢者に対する就業相談の実施ならびに就業機会の確保および提供の取組

仕事と就業希望会員のミスマッチを解消するために、
(1) 会員・未就業会員の就業相談・就業情報提供
(2) 入会説明会時も含め、入会希望会員の就業相談
を随時行い、また、月1回、会員自らが行う西脇ハローワークでのPR活動・就業相談を北播磨4SC共同で実施しました。

6 高齢者等に対する講習会などの開催の取組

厚生労働省の委託(補助)事業である「高齢者活躍人材確保育成事業」で未入会高齢者と現会員を対象に、「介護トライアル講習会」を6月、女性限定「ときめくお洒落講習会」を11月、「スマートフォン活用講習会」を1月に実施し会員を含む計38名の参加があり、内5名の新規入会者がありました。

7 一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施

兵シ協が実施する一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の加東市事業所として、高齢者の就業に適した業務に係る雇用を希望する高齢者を、年度当初は2事業所(内1事業所は12月で派遣終了)へ、年度末では新たに2事業所を増やし3事業所に派遣しました。

8 運営費の効率的・効果的な執行に向けての取組

コロナ禍で設立30周年記念式典での感染防止対策を始め、事務所窓口でのアクリル板設置や職員のマスク着用等や、会議・研修会等にオンラインで参加できる環境を整備することで、コロナ感染抑止に努めました。

9 会員の親睦および相互共助ならびにセンター発展のための取組

新型コロナウイルス感染防止のため、親睦旅行やボランティア活動を中止としましたが、設立30周年記念式典の会員向け記念品は、互助会から経費を支出しました。

(令和5年3月31日現在の会員数)

(単位：人)

前年度末会員数			入会者数			退会者数			今年度末会員数			会員平均年齢(歳)		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
237	156	393	24	26	50	23	22	45	238	160	398	73.8	73.7	73.8

(令和5年3月31日現在の母体人口と粗入会率)

(単位：人)

加東市(母体)の人口			左のうち60歳以上人口		
男性	女性	合計	男性	女性	合計
19,532	20,014	39,546	6,016	7,193	13,209
粗入会率(会員数/60歳以上人口)			4.0%	2.2%	3.0%

(令和4年度事業の開拓実績)

区分	受注件数(件)			契約金額(円)			配分金(賃金)	就業延人員(人)	就業実人員(人)	
	公共事業	民間事業	計	公共事業	民間事業	計				
職業分類										
請負等事業	専門的・技術的職業	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事務的職業	40	14	54	6,784,456	741,944	7,526,400	6,788,078	1,321	
	サービスの職業	16	20	36	5,811,089	18,489,838	24,300,927	22,079,443	4,352	
	農林漁業の職業	87	237	324	10,106,283	11,514,359	21,620,642	16,756,752	2,584	
	生産工程の職業	1	4	5	6,930	12,284,876	12,291,806	11,167,460	2,172	
	輸送・機械運転の職業	5	0	5	4,252,460	0	4,252,460	3,865,875	660	
	建設・採掘の職業	1	0	1	14,473	0	14,473	13,430	3	
	運搬・清掃・包装等の職業	648	566	1214	97,597,305	112,215,756	209,813,061	170,412,035	39,815	
	小計	798	841	1639	124,572,996	155,246,773	279,819,769	231,083,073	50,907	378
	派遣事業	販売の職業		8	8	0	4,376,961	4,376,961	3,490,787	694
運搬・清掃・包装等の職業			7	7	0	5,261,497	5,261,497	4,646,141	649	
小計		0	15	15	0	9,638,458	9,638,458	8,136,928	1,343	14
合計	798	856	1654	124,572,996	164,885,231	289,458,227	239,220,001	52,250	392	

※就業実人員合計が請負等事業と派遣事業の計と合致しないのは会員が重複のため

(令和4年度請負等事業およびシルバー派遣事業実績一覧)

項目		受注件数 (件)	契約金額 (円)	就業延人員 (人)	就業実人員 (人)	就業率
請負等事業	令和3年度	1,638	276,267,241	49,558	371	94.4%
	令和4年度	1,639	279,819,769	50,907	378	95.0%
	前年度比較	1	3,552,528	1,349	7	0.6%
シルバー派遣事業	令和3年度	11	11,924,262	1,606	10	100.0%
	令和4年度	15	9,638,458	1,343	14	100.0%
	前年度比較	4	-2,285,804	-263	4	0.0%
合計	令和3年度	1,649	288,191,503	51,164	379	96.4%
	令和4年度	1,654	289,458,227	52,250	392	98.5%
	前年度比較	5	1,266,724	1,086	13	2.1%

※就業実人員合計が請負等とシルバー派遣の計と合致しないのは会員が重複のため

(契約金額の推移)

年度	契約金額	前年比	年度	契約金額	前年比
平成4年度 (10.1~3.31)	42,455,032円		平成20年度	307,237,394円	-3.7%
平成5年度	114,594,744円	169.9%	平成21年度	300,720,645円	-2.1%
平成6年度	166,762,906円	45.5%	平成22年度	321,764,118円	7.0%
平成7年度	205,445,211円	23.2%	平成23年度	288,537,313円	-10.3%
平成8年度	241,281,073円	17.4%	平成24年度	290,927,008円	0.8%
平成9年度	249,885,948円	3.6%	平成25年度	278,272,543円	-4.3%
平成10年度	278,592,224円	11.5%	平成26年度	294,140,282円	5.7%
平成11年度	313,024,667円	12.4%	平成27年度	285,972,334円	-2.8%
平成12年度	343,421,731円	9.7%	平成28年度	276,119,075円	-3.4%
平成13年度	322,728,511円	-6.0%	平成29年度	280,152,656円	1.5%
平成14年度	323,097,084円	0.1%	平成30年度	270,401,256円	-3.5%
平成15年度	329,531,183円	2.0%	令和元年度	288,660,609円	6.8%
平成16年度	339,794,235円	3.1%	令和2年度	275,474,321円	-4.6%
平成17年度	342,261,740円	0.7%	令和3年度	288,191,503円	4.6%
平成18年度	333,628,956円	-2.5%	令和4年度	289,458,227円	0.4%
平成19年度	319,117,618円	-4.3%			